

平成 28 年度学校評価結果報告書
(中間評価)



広島県立福山葦陽高等学校
(定時制課程)

目 次

1 自己評価結果

(1) 平成 28 年度自己評価シート（中間評価）・・・・・・・・・・ 2

(2) 平成 28 年度自己評価シート（中間評価まとめ）・・・・・・・・ 5

2 学校関係者評価結果

(1) 平成 28 年度学校関係者評価シート（中間評価）・・・・・・・・ 6

平成 28 年度自己評価シート（中間評価）

校番	12	学校名	広島県立福山葦陽高等学校	校長氏名	小林泰崇	全・定・通	本・分
----	----	-----	--------------	------	------	-------	-----

※評価基準[A：計画はとても順調に進んでいる。 B：計画は概ね順調に進んでいる。 C：計画はあまり順調に進んでいない。 D：計画は全く順調に進んでいない。]

学校経営目標				
達成目標	本年度行動計画	評価	理由	担当部等
1 「強く」…自ら考え行動することで、人生を切り拓いていくことができる確かな学力を育成する				
生徒の主体的な相互活動を促すことにより、基礎学力が定着し、それを活用する姿勢が育まれている	<ul style="list-style-type: none"> 学び直しを行うと同時に、就職・進学それぞれのニーズに合わせた教材を作成する。 	B	1・2年次生については、国語・数学・英語の基礎力定着度を定期考査で見ている。 3・4年次生は進路に合わせた教材を授業で使用している。	教務部
	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の単元ごとに、基礎・基本の定着を行うとともに、既習事項を活用する演習問題を取り入れる。 	B	全教科で活用問題を取り入れ、生徒の取組状況を見ている。 現在考査実施回数3回目であり、取組途中である。	教務部
	<ul style="list-style-type: none"> 国語，外国語，情報・商業検定を周知し，受検を勧める。 受検希望の生徒には個別指導を行う。 	A	二学期中間時点での受検（予定）者数は（漢検3名，英検4名，情報検定77名）である。 合格者増に向け取り組んでいく。	教務部 進路指導部

【評価結果の分析】

- ① 国語・数学・英語の基礎的・基本的な分野を毎回定期考査に出題し、一学期中間から三学期末までの上昇率7%アップを目指して指導の工夫・改善を行っている。
- ② 定期考査では全教科で既習事項を応用して答える問題を出題している。活用問題への取組状況はそのまま生徒の学習意欲と関係している。活用問題の無答率40%以下が目標である。
- ③ 個々の生徒に合った検定を勧めたり、検定前の個別指導をきめ細かく行ったりすることで受検意欲を高めている。目標は受検人数95名である。個別指導の過程で教員の生徒理解が進み、教員と生徒の良好な信頼関係が築かれている。

【今後の改善方策】

- ① 特別支援教育の視点を取り入れ、生徒のつまずきに対して的確な支援ができるようにする。また、授業の流れを視覚化するフラッシュカードを全教科の授業で使用し、生徒が学習に取り組む意欲を高める環境作りを行う。
- ② 既習事項を実生活と関連させる、考え方のパターンを教える等、生徒が「できる」と思える演習方法を工夫して学習意欲を高める。
- ② 検定合格の表彰を全校生徒の前で行うことで生徒の意欲を高める。また、上の級を目指す指導をすることで「やればできる」という実感を持たせるとともに、自己肯定感を高める。

2 「正しく」…自ら律し他者と協働することで、地域や社会に貢献していくことができる態度を育成する

自己肯定感が高まり、社会性を身につけるとともに、勤労観・職業観を醸成し卒業年次の進路実現が図られている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会性（挨拶，時間を守る，身だしなみ）を醸成するとともに，特別指導の対象者に生徒指導の三機能を取り入れて面談を行う。 ・ クラスごとに遅刻数の達成目標を立てる。 	B	<p>挨拶向上実績度数では目標値を下回っているが，遅刻と「特別な指導」の再犯率で目標値をクリアしている。</p> <p>加えて頭髪指導では全員の生徒に改善登校を実施することができており，学びの場にふさわしい服装での登校もほぼできている。</p>	生徒指導部
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒主体の生徒会活動を行い，多くの生徒が行事に参加する中で，自己と他者を尊重する態度を育成する。 ・ 学校アンケートで行事の満足度を調査し，生徒会指導に反映する。 	B	<p>学校アンケートでは，学校行事に対する満足度が，目標値を下回っている。</p> <p>しかし，行事後参加生徒の感想では，肯定的な意見が多い。</p>	保健美化部
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路希望先の早期決定，実現を図る。 ・ 在学中の就労についての指導に力を入れ，就労率の向上を図る。 ・ 夏季指導の定着充実を図る。 ・ オープンキャンパス，学校説明会，企業見学への参加を促す。 ・ インターンシップを計画する。 ・ 資格取得者の増加を図る。 ・ 合格体験・就労体験発表会などを実施する。 	B	<p>卒業予定者 18 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職希望者 6 名 ・ 進学希望者 12 名 <p>10/13 現在における</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職内定者 4 名 ・ 進学合格者 3 名 <p>未定者についても，面接指導等を徹底し受験準備を進めている。</p> <p>在校生の就労率は 69.6%となり向上しつつある。（昨年同期比 5.9%Up）</p> <p>『いよう定学びのスタイル』である学業と就労の両立に力を入れていく。</p>	進路指導部

【評価結果の分析】

- ① 「特別な指導」件数の中での再指導率（2回以上特別な指導を受けた生徒の割合）が目標値の16%に対し，実績値10.7%と顕著に減少している。
- ② 「挨拶向上実績度数」の中で「毎日挨拶をする」生徒の割合は目標値85%に対し，実績値51%と大きく下回っている。
月間遅刻数が1以下の生徒の数は目標値30人に対し，現時点で53名であり，達成可能な数値を保持している。
- ③ 学校行事への満足度は，全校生徒の86.3%が満足している回答であった。目標値の90%を下回っている。しかし，行事後の生徒感想には，肯定的な意見が多く，行事を通して様々な経験を積んでいることが伺える。
- ④ 高卒程度認定試験に3名が述べ4科目を受験し，全員合格し卒業予定者が15名から18名に増加した。夏季休業の指導の成果でもある。
- ⑤ 昨年より資格取得者が飛躍的に増加しており，就職等進路決定において強みとなり結果につながってきている。

【今後の改善方策】

- ① 再指導が1学年に集中している。例年の事であり、組織的な生徒指導を継続していく。
- ② 学年末に再調査する予定である。教職員からも積極的な挨拶を行う。
- ③ 3学期に数値目標を設定して次年度への意識付けを行う。
- ④ 集団を苦手とする生徒もおり、行事への満足度の低く、行事を欠席する生徒がいる。集団行動を苦手とする生徒の配慮しながら、多くの生徒が参加しやすい行事となるよう、参加方法・グループ等を工夫する必要がある。また、生徒が主体となって実施できるよう、生徒会執行部の支援・指導も引き続き行う。
- ⑤ 合格体験発表、就労体験発表を計画し、全体の学習意欲や自己理解を深める学習を綿密に計画していく。
- ⑥ 「いよう定の学びのスタイル」である「学業と就労の両立」を目指すため、在学中の就労指導（ハローワーク同行、職場訪問等）に力を入れる。また、個別面談、保護者との連携を深め生徒の学校定着指導を行う。

3 「美しく」…グローバル化する社会の中で、多様な人々とつながることができる姿勢を育成する				
地域に学ぶことを通し、社会的な視野を広げ、他者と共生できる姿勢が身についている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師を招いての講演会、地域の文化施設訪問等の「体験的な学び」を企画するとともに実施を通し、生徒の社会的な視野を拓ける。 	A	<p>「総合的な学習の時間」における県立歴史博物館見学、保育実習等を実施した。</p> <p>生徒の感想も前向きな者が多い。</p>	<p>教務部</p> <p>生徒指導部</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校外清掃等の実施を通し、生徒のボランティア活動への関心を高める。 	B	<p>校外清掃は今後実施予定である。</p> <p>夏季休業中の介護施設ボランティアには、7名の生徒が参加した。（昨年度は2名）</p>	<p>保健美化部</p>

【評価結果の分析】

- ① 「総合的な学習の時間」では、広島県立歴史博物館を見学し、学んだことを作品として制作・発表した。3年次生は進路研究の一環として幼稚園でインターンシップを行った。
- ② 校外清掃は、今後実施予定である。夏季休業中に参加を募った介護施設（夏祭り）ボランティアには、昨年度より多い7名の生徒が参加しており、ボランティアへ関心を持つ生徒が増えている。

【今後の改善方策】

- ① 二学期以降もテーブルマナー講座等を計画している。学習の成果を全体場で披露することで生徒が達成感を持つことができ、体験談を聞いた他の生徒にも「やってみたい」という意欲が生まれる効果もある。
- ② 引き続き、生徒が役割を果たす責任感や達成感をもてるよう、清掃活動や行事等に取り組む。また、校外活動を通して、地域やボランティア活動への関心が高められるよう、今後の校外清掃実施を計画・実施する。

平成 28 年度自己評価シート（中間評価まとめ）

校番	12	学校名	広島県立福山葦陽高等学校	校長氏名	小林泰崇	全・ <input checked="" type="checkbox"/> 定・通	<input checked="" type="checkbox"/> 本・分
----	----	-----	--------------	------	------	--	---

1 評価結果の分析

■ 「強く」 自ら考え行動することで、人生を切り拓いていくことができる確かな学力と体力を育成する

各行動目標の評価は、『B・B・A』であった。検定試験への受験者数は現時点で延 78 名を数え、着実な成果を生んでいる。達成感や自己肯定感を高めるとともに進路実現に向けての意欲の高揚にも繋がった。併せて、受験に向けての指導の中で個々の生徒の課題を明確にし、これを共有して今後の指導に活かす取組も進んだ。

そして、低学年で、『学び直し』も含めた基礎・基本を徹底し、年次が進むに連れて応用力等の汎用的能力を培う指導も計画的・継続的に進めている。授業や考査に創意工夫を凝らし、生徒の興味関心を引き出す指導に力を入れている。

一方で、協働して課題を解決する学習等、主体的な学びの創造は、授業間で温度差があり今後の課題である。

■ 「正しく」 自ら律し他者と協働することで、地域や社会に貢献していくことができる態度を育成する

各行動目標の評価は、『B・B・B』であった。自ら考え判断し行動する能力を高め自律的に生きる力を育むことを目標として、根気強い指導を組織的に継続している。基本的な生活習慣を確立させ授業に位置づけるとともに、学校行事やボランティア、総合的な学習の時間等を活用した体験的教育活動を充実させ、自己実現に向けての意欲を高めた。

また、学習と就労を両立される取組の推進にも力を入れ、就労率の上昇や高卒程度認定試験等の合格に繋がった。しかし、授業への定着や問題行動の発生等に課題が残る。特に、様々な課題を抱える一年生への指導が喫緊の課題である。

■ 「美しく」 グローバル化する社会の中で、多様な人々とつながることができる姿勢を育成する

各行動目標の評価は、『A・B』であった。定時制に学ぶ生徒には、中学校まで不登校であったり、人間関係づくりに困難性を示す生徒が少なくない。社会的な自立に向け、学校内外での様々な体験を通じて、コミュニケーション能力を培い社会性を高める教育を最重要課題の一つ位置づけ、様々な取組を展開した。生徒の事後の振り返りでは肯定的な感想が多く、生活意欲の向上に繋がっている。

これまで継続してきた取組の実効性を更に高めるとともに、昼間定時制の特徴を活かし、午後の時間帯を有効活用した、社会的視野を広げる取組の創造が課題である。

2 今後の改善方策

■ 「強く」 自ら考え行動することで、人生を切り拓いていくことができる確かな学力と体力を育成する

- ◆ 授業のねらいや流れを明確にし、生徒が見通しを持って落ち着いて授業に臨めるようユニバーサル化を推進する。
- ◆ フラッシュカードやホワイトボード、電子黒板等を有効活用するとともに、ピア学習を積極的に取り入れる。
- ◆ 授業の中に基礎基本の徹底と応用力の育成をバランスよく配置し、生徒の意欲や思考を活性化させる授業をつくる。
- ◆ 生徒が主体的に学ぶ授業の創造に向け、OJTを中心とした研修を推進するとともに、相互研鑽の場を創る。

■ 「正しく」 自ら律し他者と協働することで、地域や社会に貢献していくことができる態度を育成する

- ◆ 生徒個々の生活実態や課題に係る情報交換会の実効性を高め、最も有効な指導を組織的に進め、自律を促す。
- ◆ 検定試験に向けた指導を組織的に展開し、学校全体で『資格を取ろう。やればできる。』という士気を高める。
- ◆ 生徒や保護者との面談・ハローワークや企業との連携強化を推進し、就労率を高め進路実現への意欲を向上させる。

■ 「美しく」 グローバル化する社会の中で、多様な人々とつながることができる姿勢を育成する

- ◆ 様々な行事や体験学習、体験発表会等の目標を明確にし、実施後の生徒の変容を客観的に分析して次年度に繋げる。
- ◆ ボランティア活動や就労体験等により、社会の形成者としての自己を認識させ、個々のキャリア発達を促す。
- ◆ 生徒会行事や修学旅行等、協働して課題を解決する学習機会を増やし、他者理解と合意形成能力の向上を図る。

3 学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策

学校関係者評価委員からは、『生徒の実態を丁寧に分析し、これを共有して、個への指導と集団への指導をバランスよく組み立て、組織的な取組の強化を進めていることが理解できる。特に、生徒の自己肯定感や自己有用感を高め、社会的自立に向けた意欲を向上されようとする教育内容の更なる充実を期待する。』との助言があった。

併せて、評価の甘さや客観性に欠く部分、目標や改善策の適宜的確な見直しや変更が必要であること等の指導も頂いた。これらの指導・助言を踏まえて中間評価を再点検し、取組の方向性と具体策を明確にして下半期の指導に繋がりたい。

平成 28 年度学校関係者評価シート（中間評価）

校番	12	学校名	広島県立福山葦陽高等学校	校長氏名	小林泰崇	全・定・通	本・分
----	----	-----	--------------	------	------	-------	-----

評価項目	評価	理 由・意 見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価指標に対して、目標値が徐々にアップするようになっているが、挨拶・遅刻の減少・清掃活動への参加は、学校が一丸となって一気に改善するような重点的な取組み等の雰囲気作りが大切ではないか。 ○ 様々なタイプの生徒に対応していることが理解できる。そうした生徒に最も大事なことは、やはり「自己肯定感」だと考える。 ○ 達成目標や評価目標等、意欲を感じる設定になっていると思う。
計画の進捗状況の評価の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力を定着させ、それを活用させるための取組みをされているのは分かるが、どのような成果があるのかを常に検証して、タイムリーに改善を図るべきものであり、そのことが不明瞭である。 ○ 個に応じた目標を設定し、将来を見据えた取組が計画的かつ着実に進められている。 ○ 評価は中間時点での進捗状況を踏まえた適切なものとなっている。
目標達成に向けた取組みの適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度行動計画において、その目標が達成できるのであれば、中期行動計画ではそれぞれの内容について、さらなる具体的な取組みが求められる。 ○ 意欲的な行動を積み重ねることにより、自立への展望を明確にし、生活意欲や学習意欲の向上に繋げる取組が組織的に推進されている。 ○ 目標達成に向けて適切なものになっていると判断する。 ○ 後半に向けての更なる成果を期待する。
評価結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体験的な学び」について計画・実施されているが、それらの活動が生徒達にどのような効果を与えているのかが、あまり見えてこない。 ○ 指導の工夫改善や個別指導等、生徒の実態に応じて適切に行われている。
今後の改善方策の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ いずれの改善方策も、教員の取組みにかかっており、課題を共有して個々のスキルアップを図ることが必要である。 ○ 挨拶ができない生徒が、まだまだ多いと感じている。取組の強化を期待する。 ○ 先生と生徒の信頼関係が出来つつある様に報告から感じた。その点を大切にして、一時的なものではなく、継続性のある取組を期待する。 ○ それぞれの改善策は適切であり、生徒の状況を的確に捉え、よく検討されている。 ○ 昨年と比べて、先生方の指導が生徒に届き、好い方向に向いていると判断している。更なる取組の強化を期待する。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な課題を持っている生徒が多いと推察され、目に見える形での成果は上げにくいと思うが、この時点ですべての中間評価がAとBであるというのは、自己に甘い評価と言わざるを得ない。 ○ 総合的に見て適切な評価結果だと思う。 ○ 達成感の味わえるカリキュラムの再構築が肝要である。 ○ 社会で必要な人間として自覚できるような教育を更に進めて欲しい。 ○ 中学時代から自己を見失い将来に否定的な生徒に対し、自分を見つめ直させ、再度頑張る意欲を持たせる教育内容の推進を期待します。 ○ 個に応じた丁寧な指導を今後も継続して欲しい。 ○ 中学校から不登校、また今現在も不登校の生徒がいるようだが、それぞれに何らかの事情や原因があって不登校状態になっているのだと判断する。厳しい環境の生徒もあると思う。それぞれの生徒の事情や立場を理解して、相談にのり指導することは容易でないと思うが根気強く取り組んで欲しい。この時、マナーやルールを守ることもしっかり教えて欲しい。